

放課後等デイサービス「キッズすてっぷさせぼ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和2年11月1日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・必要に応じて、カーテンなどの仕切りや、スペースの確保など行っている。今後も状況に応じながら過ごしやすいスペースの確保は必要。
	2 職員の配置数は適切であるか	・配置はしっかりとっている。個別活動やグループ活動においては、支援しやすいゆとりあるスタッフ数は必要に感じる。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・階段などの滑り止めなどの工夫は行っているが、建物上2階になっている為、身体障害者の方においては、介助が十分に必要になってくる。 ・室内においては、なるべく段差などないようなマットなどを選択しながら使用している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・支援の内容をスタッフ間で振り返りながら、支援の内容や方法などを修正していくようにしている。 ・個別活動やグループ活動においては、今後はしっかりと目的を確認し合いながら進めていく事は必要。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・ご要望やご意見などはしっかりと受け止めていきながら、今後の支援や取り組みなどに繋げていけると良い。
	6 この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	・アンケートを集計して、ホームページに公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・今年度は、子ども医療福祉センターのOT、STの先生や、社労士さんの訪問を経て、支援に対する助言を頂く機会があり、支援改善に繋げていけるようにしている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・経験年数に応じて研修への参加などは随時検討している。 ・コロナの影響で研修開催も少なかったように感じるが、専門職からの講習を聞けると良いと感じる。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	・アセスメントをしっかりとっていきながら、保護者様からのニーズの把握も行っている。ニーズに沿った個別支援計画の作成ができるよ良い。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の実施は少人数のチームで提案実行できるような体勢で行っている。スタッフの組み合わせも変化しながら、色々な案が出せるようにしている。 ・個別活動では、個別支援計画を確認しながら、状況に応じて実施できるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の実施は、関わる力、コミュニケーションの力、気持ちのコントロールの力、話を聞いて実行する力など、こういった経験ができるようにしている。こういった経験が、適応する力の育ちや、意思疎通を図りながら交流を楽しむ経験に繋がれば良いと感じている。こういった経験ができる事を踏まえ、「楽しいな!」「やってみたいな!」という活動の提案が今後でもできると良い。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日、長期休暇など目的に沿って行動できるように活動の提供を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動での目的、個別活動での目的などを踏まえて、実行できるようにしている。 ・活動が固定化しないように、色々な活動を提供できるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、昼礼を行っている。子どもの様子も申し送り、活動の確認を行いながら、進めている。大まかな役割分担においては、状況に応じて動きも変わってくる為、臨機応変に行動するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項などは伝えあっている。翌日の朝にミーティングを行い、支援の様子、振り返りを行っている。要点をまとめて業務日誌に記載するようにして、休みのスタッフにも伝わるようにしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・通所した時には記録を記入している。個別支援計画などに沿って記録しやすいように、個別支援計画のコピーを添付して、見比べながら記入できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時期にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は個別活動、集団での活動などを見直し、計画的に行うようにしている。 ・自己肯定感の育みなど療育支援者にとっての専門知識などは、事業所のミーティングなどで議題をあげていながら、スタッフ間で学ぶ場を今後も作っていきたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの資質の向上といった点から、誰もが参加できる状況になってくると良い。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、月の予定をFAXしていただき、ご協力して頂いている学校があり、事業所側も把握しやすい状況になっていて大変有難く感じている。 ・今年度はコロナの影響もあり、学校との話し合いの場を設ける事も難しい状況であった。今後の状況に応じて、学校との連携もしっかりとっていきたいと感じる。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象者はいないが、必要に応じて、主治医との連絡体制などを整えていきたいと考える。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・繋げていく支援としては連携は必要に感じる。コロナの影響などをみながら、今後は検討していけたらと考える。
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・上記同様、繋げていく支援としては連携は必要に感じる。こちら側も、就労先や就職先などを保護者様と確認をし合い、卒業後の様子など繋げる支援に協力をしていきたい。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・発達センターの専門的なドクターなどの助言はとても重要に感じる。通所している児童の様子や、また専門的なOT、PT、ST、からの助言をして頂きたいと感じる。今後、こどもふくし協議会などに提案しながら、市の関係機関との連携がしっかりととれていくと良い感じる。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は計画をたてていたが、コロナの影響で、交流など断念する結果となった。障害をもった子どもへの周囲からの理解も必要に感じる為、コロナの影響など落ち着き次第、計画を立てていけたらと考える。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎などにお会いした際には、通所している様子をお伝えしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレに関する研修などに参加できると良い。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・通所を始められる前には必ずご説明をするようにしている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・随時、ご利用の際には、様子などをお聞きするようにしているが、じっくり話をする体制といった点では、今後どのような方法でお話をお聞きしていくか、検討していきたいと考える。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・昨年度から、どういう形で実施していくか話し合いはしていった。保護者様たちの交流の場をどのように作っていくかは今後の課題である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・すぐに対応できる体制をとっている。 ・何か困った事や、不安なことなど、保護者様におたずねしながら、悩みなどを話しやすい環境を作っていく事は大切に感じる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・活動の様子など分かりやすいように、定期的にブログ更新を行っている。戸外、室内においての様子など、今後も保護者様に様子などをお伝えしていけると良いと感じる。 ・また、おたよりも2～3ヶ月に1度、発行している。今までにあった行事の様子のみまとめや、ご報告などを通して、ご連絡をしている。
	35	個人情報に十分配慮しているか	・配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・必要に応じてメモをとるなど、視覚的に分かりやすいように伝達していけるように心がけていきたい。 ・また、聴覚に障害がある子どもさんに対して手話やマカトン法などの手法を積極的にスタッフ間でも取り入れていけたらと考える。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・今後の課題である。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	・マニュアルなどは、ファイルにして、周囲に周知できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年に2回程、火や煙があがった設定の中で、避難する練習をしている。時には消防の方にも入っていただき、話をお聞きしている。今年度はコロナの影響で、水消火器をお借りして、自分たちで振り返りながら行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・外部の研修へは、順番に研修を受けられるようにしている。外部の研修が終われば、事業所内にて伝達を行えるようにしている。また、事業所内にて行われる会議では、月に1度程議題を設定しており、今年度は、虐待防止も議題にあげて、全員で周知できるようにする。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	・現在対象者はおられない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・現在対象者はおられない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・作成しながら全員で把握できるようにしている。